

# あすの調布

ASU no CHOFU  
2017  
12号

2017年公益社団法人 調布青年会議所 スローガン

伝えようこの街の魅力を ~縦と横の繋がりを生かして~

**JCI**  
Junior Chamber International Japan  
CHOFU

2017→2018年度  
バトンは受け継がれた!



調布青年経済人会議2017  
パラリンピックが来る前に  
～知っておきたい調布の福祉～  
2017年11月19日(日) 時間 13:00～18:00  
場所 国立大学法人電気通信大学  
**11月例会**

11月例会調布青年経済人会2017、  
題して「パラリンピックが来る前に～知っておきたい調布の福祉」を11月19日(日)電気通信大学B棟で開催しました。  
今年度は障害者福祉をテーマに掲げ、調布市を筆頭に数多くの協力団体・協力員と共に調布の福祉について、6つのブースと2つのフォーラムで障害者雇用や共生社会の実現、合理的配慮の必要性を市民・JC・商工会青年部メンバーで学びました。

私が実行委員長として最も印象的だった出来事は、階段教室vs電動車椅子です。電通大だから最新テクノロジーで階段教室の車椅子移動も簡単にできる技術があると期待していましたが、そうはいかず6人がかりで180kgの車椅子を運びました。担当したメンバーはバリアフリーの重要性を全身で感じて頂く事となりました。

障がいがある人もない人も住みやすいまち調布の実現に少しだけ近づけた一日でした。

調布青年経済人会議2017 実行委員長 大澤宏章



公益社団法人調布青年会議所2017年度 12月第1例会  
**臨時総会**  
開催日時 12月6日(水) 受付 18:30 開会 19:00  
開催場所 調布市立高野町2丁目20番地1 調布青年文化会館6F(1100)号室

12月6日たづくりにて臨時総会を開催致しました。

例年通りですが、次年度の役員、事業計画、予算等、2018年度の(公社)調布青年会議所の骨子となる部分が無事に可決されました。

12月第1例会という事もあり、卒業間近の本年度卒業生メンバー全員の参加が叶い、セレモニーも卒業生に担当して頂く設えと致しました。議長に選任された本年度卒業の畑野副理事長からは全国大会のエピソードを盛り込んだ熱いお言葉を頂くと共に、畑野副理事長の人柄が出た議事進行になりました。

また、炉端調風で開催された懇親会まで多くのメンバーが残り、懇親会から駆けつけてくれたメンバーもいて盛会のうちに終わる事が出来ました。

総務委員会2017  
副委員長 粕谷洋亮



公益社団法人調布青年会議所2017年度 10月例会  
**"ぼくみら" ぼくらの未来  
～AIが招く未来のこと～**  
開催日時:10月21日(土) 13:00～16:00  
開催場所:調布市立高野町2丁目20番地1 調布青年文化会館6F(1100)号室



メンバーの皆様におかれましては、ますますご健勝のことお慶び申し上げます。先日はご多忙の中、「ぼくみら」に出席頂き、まことにありがとうございました。非常に多くの方にご参加頂き、有意義なイベントを開催することができました。これも皆様方のご支援助とご愛顧によるものと、心から感謝いたしております。また最後になりましたが、不慣れなことで不行き届きの点が多々ございましたこと心よりお詫び申し上げます。今後ともよろしくお願い致します。 青少年委員会 委員長 熊倉 亮



**さよならブロック2017**



10月23日(月)に開催されました「さよならブロック2017」、理事長と専務は前座の会員会議所からの参加ということで平日の真っ昼間から会場に向かいました・・・今年度は翌年に東京ブロック大会の開催を控えた昭島の「フォレスト・イン 昭和館」で執り行われ、事前登録制による着座形式のため、非常にゆったりとした雰囲気の中で参加することが出来ました。

ブロック褒賞では、政治行政委員会の事業ではいつも司会をしていた白鳥君が『優秀出向者賞』を受賞されました。惜しくも最優秀は逃しましたが、委員会の中では最も活躍された出向者ということで本当におめでとうございます。

卒業生の皆様は中々都合がつかず、大澤君のみの登壇となりましたが、いつも通りの期待を裏切らないポーズを決めて頂きました。アカデミーの塾幹事と防災減災推進委員会へのダブル出向をやりきった達成感が表れているのではないのでしょうか。

思えば今年度は非常に出向の多い年でした。顧問の菅君、塾長の巴山君、副委員長の林君をはじめ、22名ものメンバーが新たな学びを求め東京ブロックに出向しました。この経験が次年度以降の調布JCに活かされていくことを切に願います。出向者の皆様、一年間お疲れ様でした。 専務理事 増田健治

# 2017年度 卒業生

卒業式では盛大に祝っていただき、本当にありがとうございました。また、拡大委員会の皆さんには私の写真がほとんど無くてご迷惑をおかけしました(汗)。

2010年から8年、JC運動を続けて、無事にドロップアウトすること無く卒業することが出来たのは、皆様のおかげです。本当にありがとうございました。今後はシニアクラブをはじめとして、色々な形で生まれ育った「調布市」に少しでも貢献できるように公私ともに頑張ります。  
宮澤 学



独立してから9年!

ホントに調布の皆様にはお世話になりました。JC活動はほぼできなかった自分ですが、その分客観的にみることができました! 1つだけ!

組織って右向け!と言われたら右向かなければ煙たがられます!ですが、右向きながらも、少しでもいいので左も向ける勇気もってみてください!そーするとイロイロと見えますよ

8~9年JCありがとーございました!そしてこれかも調布よろしく願いいたします!  
佐藤 優



2016年12月に入会し、実質的なJC活動は2017年1月から開始しました。わずか1年程度の短い期間でしたが、皆様に支えていただきながら、様々な事業に参加できたのは、とても良い経験・勉強になりました。同期入会の拡大メンバー達は、2018年度の理事や別委員会が決定し、精力的に活動しようと既に勢いづいています。みんな頑張っね、ずっと応援しています!私もこれからは、パズルの町調布を目指して頑張っていきます!ありがとうございました!  
清水 健太郎



16賀詞入会、会員開発交流委員会で「ちょうふしぜんフェスタ」と卒業例会、アカデミー研修委員会の出向、フットサルバレー・プレスクラブを経験しました。二年目はバレー部部長、まち委員会2017副委員長で「スポーツツーリズム体験ツアー」、調布青年経済人会議実行委員長で「知っておきたい調布の福祉」を担当し、アカデミー研修委員会イノベーション塾の塾付幹事、防災減災推進委員会に出向しました。濃密な二年間でした。ありがとうございました。  
大澤 宏章



年間という時間の中で、青年会議所でたくさんの方の事を学び、そして自分を成長させてもらうことができて、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。なによりも先輩、後輩をふくめ様々な人と出会えたことが自分の大きな財産となりました。

この経験とこの出会いを大事にして、調布とういこのまちでともに生きていければと思います。調布青年会議所のさらなる発展と皆様の益々のご活躍を心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。  
畑野 政大



卒業生の皆様、この度はご卒業おめでとうございます。また卒業例会に参加いただいた皆様にも重ねて御礼申し上げます。2017年度に拡大委員長をやれて本当に良かったです。素晴らしい副委員長と幹事、新入会員のおかげで一年楽しかったです。委員会の出席率も非常に高く、青年会議所を楽しんで頂けたと思います。来年度理事になる新入会員が5名もいます。今後はより増えるでしょう。今年楽しかったことや辛かったことを今後伝えていただければ幸いです。一年間ありがとうございました。  
拡大委員会 委員長 遠藤大貴



## 1年を振り返って

2016年12月11日、理事長バッチを受け継ぎ、自分の胸に付けた瞬間にバッチの目に見えない重さを感じました。それはとても重くプレッシャーとなり、バッチ贈呈で登壇したあとの第一声がなかなか出てきませんでした。2017年度理事長として様々な式典、会議に招待され、そこでの経験や人との出会いは僕にとってプラスになり、次第にプレッシャーではなく理事長という役職を楽しむことになりました。

「青年会議所は学び舎だ」と本年度の東京ブロックの会長がよく話していました。まさにその通り。青年会議所メンバーが事業を作り上げ例会を開催するのであれば、理事長は常に思いを発信するのみ、僕は思いを頂き行動するのは好きで得意なほうでしたが、口に出して発信するのはどちらかというと苦手です。この一年間は僕にとって正に修練でした。常にどのような言葉を発言すればよいのか考えていました。しかし、苦手なことに挑戦することこそ勉強になる一年でした。青年会議所においても意味がない、仕事に繋がらないという人がいますが、それは自分が青年会議所運動に参加していないからです。運動しているときは無駄なことをしていると思うことがあるかもしれない。しかし、一生懸命取り組むことで仲間から信頼が生まれ、それが自分自身の新たなネットワーク作りに繋がります。青年会議所は取り組みれば取り組むほど自分の可能性を広げられるところ。そして、その経験はのちに自分の成長や信頼となって返ってくる。何事も同じだと思いますが特に青年会議所はそのようなことを実感できる場所です。

この1年間、自分の思いを発信しました。その思いが伝わらなかった。まだやり足りないと思う部分はありました。それも一つの経験。やりきれなかった続きはまた別の場所、機会です。街の魅力を伝えるために続けてみたいと思います。もちろん青年会議所で学んだ経験を生かして。1年間を振り返り、改めて感じたのは青年会議所の縦と横の繋がり。そのネットワークの広さは調布だけでなく日本全国に広がります。それを生かすのも殺すのも自分次第。思いを持って行動するときその繋がりには最大限に発揮されると思います。次年度も前を向いて積極的に青年会議所運動に取り組み、魅力的な調布青年会議所を築きましょう。

1年間ありがとうございました。

理事長 瀧柳 伸央



## 1年を振り返って



12月10日、12月第二例会において瀧柳理事長に無事に直前理事長バッチを引き継いだとき、安堵の思いと寂しさを感じる瞬間でした。足掛け2年に渡り理事長と付く役職に付かせていただき多くの方に感謝申し上げます。直前理事長として心掛けていたのは、前に出すぎず、目立たないようにそれでいて存在を忘れられないようにする事。それでいていざというときは、理事長をしっかりと支える事。そんなことを考えながら一年間過ごしてきましたが、理事長、専務の阿吽の呼吸で会を運営する姿に私などが理事長を支えるなんてとてもおこがましい行為でした。本当に素晴らしいコンビでした。存在を忘れられないこと・・・会議、例会etc様々な場所でメンバーに会うたびに「直前」「直前」と呼ばれることが本当に嬉しくて嬉しくて去年一年間頑張ってきた良かっとなと思える一瞬一瞬でした。来年は監事として青年会議所を今までは違った目線で見守る立場となりますが、大好きなこの調布青年会議所の為に尽くして行きたいと思えます。2006年に入会したこの調布青年会議所での運動も残すところ残り2年！今までは変わらず全力で最後まで走り抜きたいと思えます。今後も変わらぬご指導ご鞭撻の程、宜しくお願いいたします。

直前理事長 川端 宏志

## 公益社団法人日本青年会議所関東地区協議会 2017教育再生委員会の硫黄島渡島事業

8/21～8/22、公益社団法人日本青年会議所関東地区協議会 2017教育再生委員会の硫黄島渡島事業「硫黄島から学ぶ先人たちの想い」に参加させて頂きました。

硫黄島に一般人が渡島できるの?!と改めてJ.Cのスケール感にびっくりです。この事業は今年で10年目になります。青少年事業との事でしたので歴史に興味のある中学2年の長男と応募しました。55人の枠と聞いていましたが、ご遺族や、共催である一般財団法人日本文化興隆財団(以下財団)の方が多く、大変狭き門でしたが何とか選考に滑り込むことができました。

硫黄島は第二次世界大戦末期、日本軍が米軍の本土空襲を遅らせるため、命をかけて36日間守った島です。日本軍の戦死者約21,900名、米軍の死傷者29,000名。まさに激戦区です。ワシントンにある星条旗を立てる米兵のモニュメントを見たことがある方も多いと思いますが、あれが硫黄島上陸作戦の1シーンです。

圧倒的な戦力差であったのに関わらず、36日間も戦い抜けたのは当時の日本人の忍耐強さと優秀な指揮官である栗林忠道中将の手腕によるものです。

映画「硫黄島からの手紙」で注目を集め、渡島希望者が続出していますが、現在は自衛隊の基地として、一般人の上陸はできません。特別に内閣府、防衛省、厚生労働省より許可を頂き渡島が許されます。映画の撮影の為に許可が出たのはわずか一日で殆どのシーンがCG合成です。

8/21に事前のガイダンスとして勉強会やご遺族や財団の方とグループディスカッションを行いました。ご遺族の方の想いは大変重く、この事業の重要性を感じました。

8/22に航空自衛隊入間基地よりC-1輸送機にて出発しました。

映画などで見る縦3列に横向きに座っての飛行機移動なんて生まれて初めての事でした。フライト時間は2時間10分。降機の際、皆飛行場に一礼をします。まだ飛行場の下にはたくさんの遺骨が眠っているそうです。炎天下の中、慰霊祭は執り行われました。また島内見学では5分おきくらいに貴重な場所があって、どれだけの歴史がこの小さな島に刻まれているのかを痛感しました。硫黄の匂いや地熱による地下壕のサウナのような劣悪な環境は実際に現地を感じてこそでした。戦後のまま、と聞いていましたが、現在は自衛隊員皆様の手により綺麗に整備されており、法律的に多くの一般の方が気軽に来れないのがとても残念でなりません。

もし可能になれば、次世代の学びの場になることは間違いなく、また見つからないご遺体の遺骨収集も捗ることでしょう。

今は我々の世代がこの悲しい史実を学び、恒久的な世界平和を望む事が大切です。

戦後72年。ますます戦争の記憶は薄れ、世界はまた緊迫した情勢になっています。

私は今回の貴重な体験は長男と共に関東地区協議会 2017教育再生委員会での報告会、ラジオ出演、SNS、関係団体での報告や調和小・六中での写真の掲示等を行い、個人でできる限りの体験の拡散を行いました。戦争で散って行った先人たちの生き様、想いを胸に、これからも平和を願い、反戦の教を伝えて行く所存であります。

関東地区協議会 2017教育再生委員会の皆様、ありがとうございました！

磯邊 隆



## 世界大会 in オランダ

11月初旬に行われてました、世界大会inアムステルダムに行っていました。

成田空港からは12時間のフライト、現地では3日間現地の文化に触れてまいりました。

今回楽しみにしていたのはMy Favorite Beer、ハイネケンの歴史や製造方法が体験できるHeineken-Experienceにキリンビール様のご厚意でご招待頂き、3名で行ってまいりました！

ハイネケンとは・・・

1863年にヘラルド・A・ハイネケンによって創立され、現在では世界170か国以上で販売、アンハイザー・ブッシュ・インペブ、SABミラーに次ぐ世界第3位のシェアを占める世界的ビール会社。オランダも含めて世界100か国に醸造工場を持つ。

日本ではキリンビールとの合弁会社を設立、ちなみにタイではシンハーと業務提携しタイ現地にてシンハーが生産を行っています。オランダ人のネイティブ張りの英語の説明を聞きながら、展示を見た後はもちろん試飲です。

うーん、現地でのむハイネケンは格別です。

そんな私がハイネケンをメンバーの皆様にも味わって頂きたく、12月第一例会の懇親会にてハイネケンフェスティバルを開催させて頂きました！その他にもいろいろあったアムステルダム珍道中は写真でお楽しみください！

アムステルダム、また行こう。

総務委員会2017 運営幹事 山田啓二郎



# 出向者の声

## 公益社団法人日本青年会議所 東京ブロック協議会 オリンピック応援委員会 社会福祉法人 調布市社会福祉協議会

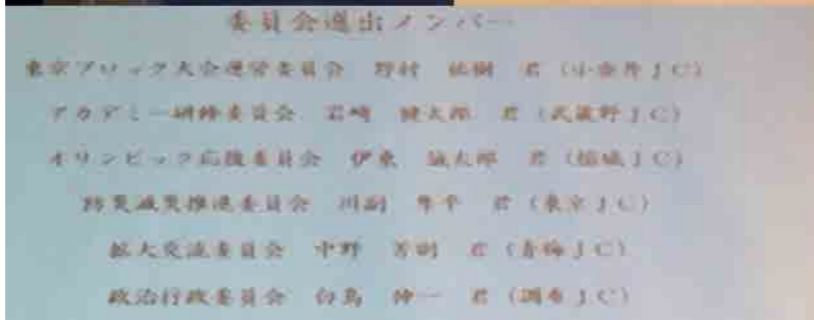
本年、東京ブロックのオリンピック委員会に委員出向、調布市社会福祉協議会に評議員と出向させて頂きました。オリンピック委員会に関しては、2～3回くらいしか委員会出席ができず、東京ブロックで横のつながりを広げることができなかつた、非常に残念な思いが残る1年間でした。調布市社会福祉協議会については、4月1日からスタートしまして、調布青年会議所の代表者として年4回の会議に参加して、発言と議決権を行使するのが主な役割となっています。こちらは、任期がまだありますので、任期期間中については、調布青年会議所の代表として精一杯頑張っております。  
副理事長 高橋秀幸



## 公益社団法人日本青年会議所関東地区東京ブロック協議会政治行政委員会

私は2017年公益社団法人日本青年会議所関東地区東京ブロック協議会政治行政委員会の委員として出向致しました。東京各地のLOMメンバーと共に、憲法や政治について、地域住民の方々や高校生、大学生などと討論会やセミナーを開催すると共に勉強して来ました。

2017年は憲法改正や選挙、天皇退位など様々な変革のある年でした、運営するにあたり東京各地に行き設置や司会などを務めてまいりました、人前で話すのが苦手な私が憲法や政治などの難しい話をしたり前に立って話すとは想像していませんでしたが、一歩前へ踏み出す勇気を出向して与えて頂いた気がします。調布だけではなく、各地LOMのメンバーと話し沢山の刺激を受けた事はこれからの私の人生において大きな糧になる事と思います。これらの経験を調布の地に活かして行きます！  
青少年委員会 白鳥 伸一



## 公益社団法人日本青年会議所 教育再生グループ 教育再生会議in調布

10月28日(土)に日本青年会議所教育再生会議第10回全体会議を開催いたしました。開催にあたり、先輩方には身に余るお心遣いをいただきましたことをこの場を借りて感謝申し上げます。

### 【当日のスケジュール】

- 12:00～14:00 エクスカーションの「深大寺そばと国宝」では和尚様に本堂と国宝を案内して頂き、その後そばを堪能。
- 15:00～16:30 全体会議「海外市場の光と影」と題しまして株式会社ビー・フォアード山川社長よりご講演いただきました。
- 17:30～18:30 「映画のまち花火」は残念ながら中止となりました。
- 19:00～21:00 懇親会では竹乃家さんで、調布青年会議所の名に恥じぬよう必死で練習した芸と名物のうなぎそして、大勢の指導員、でおもてなしをさせていただきました。
- 21:30～23:30 二次会はメンバーでもある調風さんをお借りし、またも調布の伝統芸を披露いたしました。

こうして、盛大に終了することができましたのも、瀧柳理事長をはじめとする現役のみなさまの30人近いメンバーのお出迎えがあったからこそです。東京や横浜や長野や神戸など200人～600人ぐらい在籍するロムでもお出迎えはせいぜい10人程度ですから、相当インパクトを残せたと思います。本当にありがとうございました。日本の委員会にスタッフで出向するとこういっておまけもついてきますが、私自身は調布市の観光ガイドとして名所や名物を調査研究し、人生初で調布のホテルに泊まったりと刺激的な一日を過ごすことができ大満足でした。最後になりますが、当初は1人で出向したほうが、飛んでも逃げて誰も迷惑をかけないからいい、ぐらいに思ってたのに調布から5人も自発的に出向してくれました。彼らのせいで逃げることもできず、なんとか1年間VCを全うできました。おかげで会議のたびに寂しい想いをしなくてすみました。ありがとうございました。  
教育再生会議副議長 高橋裕二



## 第40回福祉まつり

去る、12月2日に調布市役所前庭に於きまして、調布市社会福祉協議会が主催となって行われております「第40回福祉まつり」に出店いたしました。本年度の青少年委員会の最後の事業となります。当日寒空の中、早朝より準備を進め、販売開始に間に合わせることができ、後に嵐祐子先輩曰く、「時間通りに開店しているのを始めてみた!」というありがたいお褒めのお言葉を頂戴いただき嬉しく思います。メンバーの応援もたくさん来ていただき増田次年度理事長の「一杯入魂」の掛け声の基、和気藹々と楽しみながら終えることができました。

青少年委員会 副委員長 志村 郷親



## 志村郷親くん 朋子さん ご結婚おめでとうございます!

去る、平成29年11月12日(日)千葉県浦安市にありますディズニーアンパサダーホテルに於きまして、私たちの結婚式及び披露宴が執り行われました。本年の11月中は天候が不安定だった関係で当日に不安がありました、無事お天気のいい中、挙式当日を迎えました。挙式の内容は場所が場所だけに大変ユニークな内容で、ご列席いただいたメンバーや皆様には大変楽しんでいただけたようです。本年1月15日に入籍をし、結婚生活はスタートしておりましたが、このように挙式を挙げることによって家庭人としての実感、責任感を沸々と感じる今日この頃でございます。今後ともご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。

志村 郷親・朋子



## 調布ラグビークラブ



こんにちは。皆さんは、2019年ラグビーW杯、2020年の東京オリンピックでの7人制ラグビーが調布で開催するのをご存知ですか?調布ラグビークラブは、ラグビー経験のある瀧柳理事長を中心に、調布J.Cの有志で「ラグビーのすばらしさをもっと調布に広めたい」の思いで2015年に発足しました。昨年はじめて、調布市内小学生の「タグラグビー大会」を調布市とともに開催し、子どもたちにもタグラグビーの面白さを伝えることができました。現在は、「調布まちなかラグビー」開催や「サントリーカップ」出場など、参加人数も増えて、活発に活動しています。だれもがスポーツに親しみ、スポーツを通して交流がはぐくまれる調布となれるよう、スタッフみんなで頑張っています。毎週土曜に練習していますので、現役のみなさんも参加してみてくださいね。瀧柳理事長のふだん見れないアツイ姿が見れるかも…

OB加藤和歌子



### 公益社団法人調布青年会議所並びに同シニアクラブ合同 二〇一八年度新春地域懇談会のご案内

拝啓

歳晩の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は公益社団法人調布青年会議所並びに同シニアクラブの活動に格別のご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

二〇一八年度のスタートにあたり、年頭のご挨拶を申し上げますとともに、皆様方との親交を深めさせていただきたく、新春地域懇談会を左記の通り開催いたします。

「明るい豊かなまちづくり」への取り組みを進める上で貴重なご意見をいただく懇談の席となれば幸いに存じます。

ご多忙の中とは存じますが、皆様のお越しを心からお待ち申し上げます。

敬具

二〇一七年十一月吉日

記

日時 二〇一八年一月十七日(水)

登録開始 午後六時 より 開会午後六時三十分

場所 調布市グリーンホール 小ホール

調布市小島町二一四七一

以上

公益社団法人調布青年会議所

二〇一八年度 理事長 増田健治

調布青年会議所シニアクラブ

会長 日比生信義

# 2017年度を振り返って

いや～  
2017年度  
大変お疲れ様  
でした。



まっすー  
今年1年  
ありがとうね～。

そんな事僕にも  
わかりませんよ。  
こんなに朝早く  
呼び出されて!



なんで僕  
着物着ているん  
でしょうね～  
意味がわからないよ～  
薄井委員長の趣旨  
わからないよ～  
最後まで

卒業例会に  
ご用意が無くて  
失礼いたしました



薄 君、ごめんなさい。

それより  
増田次年度理事長!  
来年泣くなよ!  
絶対泣くなよ!  
因みに僕は泣くからね!  
ハンカチーフ  
宜しくね。

JCは  
涙なしには  
語れないんだ!



とにもかくにも  
公益社団法人  
調布青年会議所2018年度も  
バイブス満タンで  
行きましよう!

2017完



## 編集後記

1年があつという間に過ぎ、気が付けばあすの調布最終号となりました。初の委員長&編集長ということで日々業務に追われながら過ごした1年でしたが、なんとか最終号を迎えることができほっとしております。本年度あすの調布発行にご協力&ご愛読いただいたシニアクラブ諸先輩方、メンバーの皆様誠にありがとうございました!!

総務委員会2017 委員長&編集長  
薄井麻希子

